

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名:教育委員会

1 指定管理者の概要等

| | |
|-----------------|--|
| 施設の名称及び所在 | 三重県立鈴鹿青少年センター(鈴鹿市住吉町南谷口) |
| 指定管理者の名称等 | 公益財団法人三重県体育協会 理事長 東地 隆司(鈴鹿市御園町 1669 番地) |
| 指定の期間 | 平成 25 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日 |
| 指定管理者が行う管理業務の内容 | ① センター条例第 2 条に規定する事業の実施に関する業務 ② センター施設等の利用の許可等に関する業務 ③ センター利用料金の收受等に関する業務 ④ センターの施設等の維持管理及び修繕に関する業務 ⑤ センターの管理上必要と認める業務 |

2 管理業務の実施状況

| | 指定管理者の自己評価 | 県の評価 | 全期間におけるコメント |
|-----|------------|------|---|
| H25 | B | | <p>多様な創作体験活動メニューを利用者に提供するとともに、幅広い年齢層が利用できる主催事業を実施するとともに、全期間を通じて協定に定める以上の事業を実施しており、年々、その事業数を増加させるなど意欲的に取り組みを行った。</p> <p>また、施設の維持管理では、利用者からの意見や要望に即座に対応し修繕に取り組み、協定で取り交わした業務計画以上の修繕を積極的に実施することにより、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう努めている。</p> <p>このほか、職員の人権研修の実施、利用者のニーズに応じて施設内の一部を託児室として利用可能とするなど県施策への貢献や、個人情報保護方針を定め、個人情報の取扱いについても適正に取り組んでいる。</p> |
| H26 | B | | |
| H27 | B | | |
| H28 | B | | |
| H29 | B | | |

3 施設の利用状況

| | 指定管理者の自己評価 | 県の評価 | 全期間におけるコメント |
|-----|------------|------|---|
| H25 | B | — | <p>2交代制勤務により、施設利用時間の延長を行うことや繁忙期の開所日の拡大に取り組むことで利用サービスの向上に努めてきた。</p> <p>また、児童生徒のみならず、幼児から一般まで幅広い年齢層を対象とする主催事業を年々増加させるなど、様々な体験活動の機会を提供し、施設利用者の満足度の向上や利用者数の確保に努めている。</p> <p>このほか、施設内での活動だけでなく、ほかの社会教育施設や学校にセンター職員が外向いて体験活動の機会を提供するとともに施設のPRにも取り組んだ。</p> <p>さらに、指定管理者が独自に定めた成果目標(利用者満足度)を達成しており、当施設が利用しやすい施設になっているものと評価できる。</p> <p>しかしながら、閑散期の利用状況には依然として課題がみられることから、利用者の増加に向けたさらなる取組を期待したい。</p> |
| H26 | B | — | |
| H27 | A | — | |
| H28 | A | — | |
| H29 | A | — | |

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------------|-------------|--------|-------------|
| 指定管理料 | 333,006,000 | 事業費 | 24,403,310 |
| 利用料金収入 | 218,927,949 | 管理費 | 511,033,877 |
| その他の収入 | 21,645,093 | その他の支出 | 19,325,430 |
| 合計 (a) | 573,579,042 | 合計 (b) | 554,762,617 |
| 収支差額 (a)-(b) | 18,816,425 | | |

※参考

| | |
|---------|-----------|
| 利用料金減免額 | 6,361,680 |
|---------|-----------|

5 成果目標及びその実績

| | 指定管理者 の自己評価 | 県の評価 | 全期間における成果目標及びその実績 | | | | | | |
|--|----------------|------|-------------------|----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | | | 成果目標 項目 | 目標値 | H25 実績値 | H26 実績値 | H27 実績値 | H28 実績値 | H29 実績値 |
| H25 | C | | 施設延 利用者数 | 73,300 人 | 74,751 人 | 74,719 人 | 75,946 人 | 74,062 人 | 74,400 人 |
| H26 | C | | 定員 稼働率 | 26.5% | 25.1% | 25.9% | 27.7% | 27.2% | 26.7% |
| H27 | A | — | | | | | | | |
| H28 | A | — | | | | | | | |
| H29 | A | — | | | | | | | |
| 全期間におけるコメント | | | | | | | | | |
| <p>定員稼働率が目標に達していない年度があったが、利用者数の増加を図るため、職員が学校や企業等を訪問する、閑散期のスポーツ合宿の誘致に取り組むなどの利用促進活動の結果、平成 27 年度からはすべての成果目標を達成することができた。</p> | | | | | | | | | |

6 総括評価

- 主催事業を適宜、見直し、創作活動、自然体験活動、自然科学活動、生涯学習、スポーツ体験、英語に触れる機会、防災意識の向上を図る活動など多様な事業を実施するとともに、青少年の集団宿泊体験を安全に提供できる場として、県内の小中学校、高等学校、特別支援学校で広く利用された。
- 児童生徒のみならず、幼児から一般まで幅広い年齢層を対象とする主催事業の実施、利用者の研修ニーズに合わせた豊富な知識や技能を有するセンター職員の出前事業の実施、センターに登録しているボランティアの活動支援による主催事業の実施など、体験機会の創出に努めるとともに施設のPRにも取り組んだ。
- 地元の伝統産業を生かした体験活動の機会を充実して提供するため、鈴鹿市伝統産業会館及び鈴鹿市産業政策課と連携して体験活動の資料の充実を図った。
- 県内のほかの青少年教育施設管理者で構成する三重県青少年施設協議会の中心的役割を果たし、3施設による合同イベント（こども体験遊びリンピック in みえ）を開催、ほかの施設が行うイベントへの出展など相互協力を行い、県内の青少年教育施設の活動の活性化に貢献した。
- 施設利用時間の延長、繁忙期の開所日の拡大（4月から8月までの無休営業）、学校行事での利用料金減免（引率者の利用料金、施設の利用料金）等、利用者のサービスの向上に取り組んだ。
- 他の施設運営も行う指定管理者としての強みを生かし、閑散期のスポーツ合宿の受け入れ調整を行うほか、未利用の小中学校を直接訪問することによる利用促進、大学、幼稚園、学習塾、企業等の利用促進のための活動を行い、利用者確保に努めた結果、平成 27 年度からは成果目標を達成することができた。
- 施設の維持管理として、対応可能な箇所（宿泊ベッドの塗装など）は職員が行い、修繕費のコスト削減に努める一方、協定で取り交わした業務計画以上の修繕を積極的に実施し、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう努めている。
- 省エネ化を図るためにLED電球の導入、利用者ニーズの高かったウォシュレットトイレの導入、利用者サービスの向上を図るため宿泊室の畳表替えやエアコンの更新、インターネット環境の充実を行った。
- 個人情報保護方針、特定個人情報取扱規程を整備し、個人情報の記載のある申込書等を厳重に保管管理するなど、個人情報の適正管理を徹底した結果、個人情報の漏洩はなかった。

以上のことに加え、利用者満足度が高い数値を示していることから、第3期指定管理期間開始後も、指定管理者の努力により、利用しやすい施設となっているものと評価している一方、閑散期の利用者拡大については一層の工夫が求められる。

また、当該指定管理者は、2交代制勤務の実施、利用者の苦情等への即時対応、青少年の健全育成及び生涯学習の場の提供としての主催事業の実施など、基本協定等に定める業務基準や事業計画に沿って、それぞれ県の求める水準に合致した管理運営を行ったと評価できる。平成 30 年度からの4期目の指定管理者として、公益財団法人三重県体育協会が引き続き指定された。今後も引き続き、一層利用しやすい施設づくり、利用者のサービスの向上、利用者の拡大を図っていく必要がある。

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価：「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」 → 業務計画を順調に実施している。
「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」の自己評価：「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」 → 当初の目標を達成している。
「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価：「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。